



あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張らずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。】

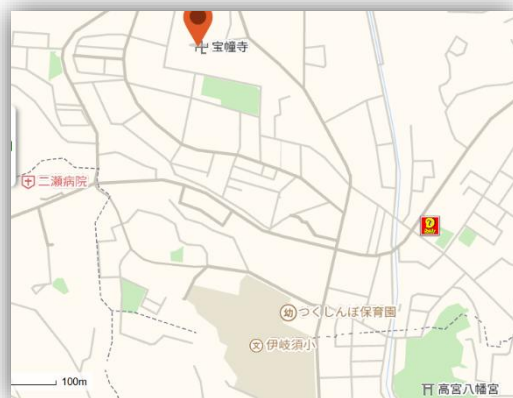
3年生は社会科「学校のまわり」の学習で、学校の北東に位置する

宝幢寺（ほうどうじ）さんを訪問させていただきました。和尚様ありがとう

ございました。（#^_^#）



3年生の社会科の教科書や文科省から出ている指導書等によりますと、学校のまわりの様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、学校のまわりの様子を捉え、場所による違いを考え表現することを通して、自分たちが住む身近な地域の様子をおおまかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う



ことを目標とされ、子ども達を校区探検に引率されています。これまで、子ども達は生活科では町探検に行き地図等に大まかにまとめています。では、3年生では？そうです。3年生では、屋上等から東西南北に位置する公共物や地域の古くから残る建造物などを調査観察し、学校のまわりには、どのような「ひと・もの・こと」があったのかを話し合うなどして最後に個々やグループで地図やレポートにまとめられます。

北東に位置する宝幢寺（ほうどうじ）の住職様は、3年生の子ども達に「善い行いも、悪い行いも必ず自分にかえってきます。このことを心掛けて日々努力しましょうね。おうちの方も先生方のような大人になってもそうなのですよ。自分に返ってきます。…👉」というお言葉をいただきました。本当にありがとうございました。お寺には、石炭産業で日本を支えてくださった相田炭鉱で命を失われた方々を慰霊する石碑（初めて知りましたが本寺に伊藤伝衛門氏や地元の有識者の方々が寄贈された。と刻まれていました。）も建立されていました。

各方角別に調査したことの3年生の皆さんのまとめの成果物を見せていただくのがとても楽しみでございま



す。私は、体育の研究だけでなく「社会科の初志を貫く会」にも約10年間所属し、恩師である故野見山嘉昭校長先生にご指導いただき勉強させていただいたことを思い出しました。恩師は「教師自らが自分の足で取材して、子ども達の思考にどうしたら連続の問いを持たせることができるのかを常に考え授業に臨みなさい。そうやって苦労してやっと出会ったもの・ひと・ことが未来の自分（子ども達自身）の生きる力（勇気）となります。教科書での学習も大切だが、学期に1回は、事前にキーパーソンを取材し、教育的意図をもって教室を飛び出す校外学習展開を目指しなさい。」・・・本見学に際し、個人で調べさせる前に、共通して調べ方を身に付けさせる（本見学）ために何週間も時間をかけて事前に、話し合いを持たれ、つきたい力をかくにんされ、計画をたて、宝人（ゲスト）と打ち合わせをされ、申請書を校長に出し、準備し、指導され、そして、天候や安全に留意しこの日を迎えられた3年生の先生方をリスペクトいたします。この教育愛いっぱいの個別・最適な学びにつなげる見学・探検学習システムの流れは、全学年の生活科、社会科で伊岐須小の先生方によって実践されています。（教科書をただ読みあわせるだけで終わらせないきめ細やかな指導をされています。）



集中して学習した後の給食はおいしいですね。



明日はマーボーひじき丼、銀シャリ、ビーフンときのコスープ、F・ミルクという豪華中華料理です。お楽しみに。